

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがなを読んで書ける児童がほとんどだが、書き順が違っている子もまだたくさんいる。</li> <li>・書くことに積極的な児童が多い。促音、長音、拗音、助詞などの使い方に誤りがある児童がまだ多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き順正しく書くことの良さに触れたり、全体でチェックするなどくり返し指導していく。</li> <li>・促音や長音カルタなど、遊びを取り入れながら、繰り返し指導していく。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班やクラスの友だちに自分の体験などを話すことは大好きな子が多い。一方で聞く姿勢や、最後まで聞く、内容を落とさずに聞くなどの力がまだ不足している児童も多い。</li> <li>・自分の経験したことを文にすることが好きな児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞き方名人になろう」と目あてを決めて取り組むなど意欲的に意識的にできる活動を取り入れる。</li> <li>・話したことを児童に確認のため聞くなど、随時おこない、内容をしっかりと聞いているか評価していく。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語文など登場人物の気持ちに入り込み、楽しんで劇化することができる児童が多い。</li> <li>・読書量や読書の質には個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、楽しんで学習できる活動をおこなっていく。</li> <li>・読み聞かせなどを積極的にこなしていく。</li> </ul>
算数	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数字のかき方を知り、具体物を数えたり数字で表すことができる。</li> <li>・足し算引き算の繰り返しなしの計算ができるが、指計算を行う児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内でも、自分で進んで計算カードを使って繰り返し習熟が行える時間を確保する。</li> <li>・ノートなどで個別の学習状況を確認する。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の意味を理解し、式を立てることができる。</li> <li>・足し算か引き算か式を立てた理由を自分の言葉で表すことができる児童は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の意味の理解を全体で共通理解することを授業内できちんと行う。</li> <li>・自分の言葉で、理由を話せる機会をペア学習などを取り入れながら増やす。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで問題に取り組み、自分の意見を発せようとする児童が多い。</li> <li>・算数の学習を楽しみながら行っている。</li> <li>・正確に素早く行う意識はまだ育っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数の学習に対する達成感を感じさせる授業作りを行う。</li> <li>・見直しをするなど振り返りを自分で意識できることの良さを定着させる。</li> </ul>
生活	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あさがおを育てながら、季節に合わせて育つ植物について知っている児童が多い。</li> <li>・学校探検では、質問する際の言葉遣いを意識できていない児童もいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも季節を意識させながら、様々な植物や生き物に触れる機会を増やす。</li> <li>・目上の方や学校で働く人に触れながら正しい接し方を指導していく。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校探検やあさがおの観察では、発見したことや見つけたことを絵や文で表現することができた。</li> <li>・観察の視点を自分で見つけることはまだ難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察の視点を重点的に指導しながら、自分で気付くことができるようにする。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物に触れ合うことや学校の中のことを知ろうとすることを楽しんでしている児童が多い。</li> <li>・様々な人や自然に意識して目を向けている児童は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーを招き、先生以外の人との触れ合いの場を増やす。</li> <li>・回りの自然の様子や変化に気付く意識を育てる。</li> </ul>
音楽	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しんで歌い、色々な曲もよく知っている児童が多い。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの練習も意欲的に取り組んでいる児童が多いが、リズムがとれない、音の長さが正しくとれない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の歌を取り入れ、楽しんで歌えるようにしていく。</li> <li>・個別指導を充実させ、少しずつでも積み上げていけるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園や保育園、さまざまな家庭環境など、音楽にふれる機会に個人差があるので、思考力の個人差も大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な機会を通して、様々な楽曲にふれる機会を作っていく。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体全体で歌を表現するなど、楽しんで活動している。</li> <li>・鍵盤などは、個人差があり、演奏に消極的な子もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵盤の演奏だけでなく、さまざまな楽器を取り入れ、楽しんで活動できるようにする。</li> </ul>

図画 工作	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作りたいもの、表現したいものを道具や自分の体を使い表現することができる児童が多くいる。</li> <li>・その一方で作りたいものが表現できず困り感を抱える児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手や様々な道具を使い表現をする機会をたくさん作る。</li> <li>・友達と一緒に活動するなどし、やり方を学ぶ機会を作る。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材やお話から作品を考えたり、発想することはできる児童がいる。しかし、自分一人で考えることや思いつくことが苦手な児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の作品等に触れる機会を設けて、見方や感じ方を広げる。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に対しては意欲的、積極的に取り組む児童が多い。</li> <li>・自分の作品をつくらうという気持ちを持って取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちの意欲を大切にし、様々な題材を扱い、より一層子供たちが楽しく学習を行えるようにする</li> </ul>
体育	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄棒やマット運動、かけっこで基本的な動きをすることができる児童が多い。</li> <li>・一部の運動で体をうまく使うことができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動を通して、体を使う経験を増やし、運動の行い方をわかるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で運動をできる児童はいるが、それを人に伝えたり、やり方を工夫して行うことが苦手な児童も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達同士で運動を見あったり、アドバイスする機会を作って自分の考えたことを他者に伝える力を養う。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守って活動したり、安全に気をつけて活動できている児童が多い。</li> <li>・友達との活動の中でけんかやトラブルになることがまれにある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童たちが自ら進んで活動するような運動などを授業で取り入れることできまりを守り誰とでもなかよく運動できるようにする。</li> </ul>

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を正しく書く力に差があり、文章の中で使うことができない児童が多い。</li> <li>「」や句読点を正しく使って文章を書く力に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書いたものを声に出して確かめたり、読み返したりするように声をかける。</li> <li>日記や作文などを書く機会を増やし、書く楽しさを味わわせる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて、順序を整理して書く力に差が見られる。</li> <li>話の要点を落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことが難しい実態がある。</li> <li>場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像することは楽しく行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な体験や観察など、見聞きしたものを書く活動を多く取り入れる。</li> <li>スピーチなどの活動時には質問や感想を述べる場を設け、自分の思いを具体的に表現することができるようにする。</li> <li>話し合い活動などを通して話の流れを考えながら聞くことができるようにする。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を進んで学習しようとする意欲が高い。</li> <li>つながりを考えて説明文を読んだり、登場人物の思いを想像して物語文を楽しんだりする意欲が高い。</li> <li>いろいろな本を読もうとする意欲には差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ部分をもった漢字や、同じへんの漢字を見つける楽しさを味わわせる。</li> <li>いろいろな本の読み聞かせやストーリーテリングを聞くことによって、本への興味関心を上げられるようにする。</li> </ul>
算数	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算や長さの技能の習熟に差が見られる。</li> <li>複雑な数字の操作を伴う計算(筆算)では、正確に計算することが難しくなる。</li> <li>ある時刻からある時刻までの時間を読み取ることに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント、ドリルを用いた繰り返しの練習により技能の定着を図る。</li> <li>図や具体物、ICT教材を活用し、視覚的にイメージをつかませる。</li> <li>時間と時刻は、日常の生活の場面でも繰り返し指導を行う。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えたことを図や具体物を用いて表現することができる児童が多い。</li> <li>一方で、全体の場で発表したり、意見を述べることに抵抗を感じる児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペア、グループの活動を取り入れ、児童に自分の考えを表現させ、話し合ったりさせる。</li> <li>発表が苦手な児童のために、ワークシートやノートなど様々な形で自分の考えを表現できるよう支援を行う。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童によって学習意欲に差が見られ、宿題の取り組み方にも差が見られる。</li> <li>学んだことを生活に生かそうとする姿勢が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃からドリルやノートをチェックしたり、ミニテストを行ったりすることにより、宿題の取り組み方を振り返らせる。</li> <li>導入において、身近な生活の場面を想起させ解決しようとする意欲を引き出す。</li> <li>学んだことが、生活のどのような場面で活用できるが考えさせる。</li> </ul>
生活	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生き物や自然に対する興味関心が高く、知識が豊富な児童が増えてきているが、調べる意欲には、個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生活に関わる見方、考え方を生かした学習活動を充実させる。</li> <li>学校図書館や市立図書館と連携し、関連した図書が身近にある学習環境を作る。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜を育てる活動を通し、成長の様子が分かり、収穫の喜びを味わうことができた。</li> <li>自分なりに考えたことを表現する力には、個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視点を明確にしたカードの記録を継続し、気付いたことや考えたことを、生活カードに絵と文章で詳しく書けるようにする。</li> <li>各活動のまとめとして、いろいろな表現方法で発表する場面を設定し、交流させ、新たな気付きを見つけさせる。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生との関わりを通し、上級生としての自覚が出てきた。</li> <li>地域の自然や人に関わる楽しさを味わう児童が増えてきたが、それらと自分との関わりや自分自身のよさへの気付きは薄い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてを決めて体験的に学べる学習活動を工夫する。</li> <li>体験的な活動を、児童の主体的な学びにつなげる学習過程を設定する。</li> <li>活動の振り返りで得られた手応えや自信を、次の学びに生かせるようにする。</li> </ul>
音楽	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>範唱を聴いて歌ったり、階名で歌ったりすることは正しくできる児童が多い。</li> <li>鍵盤ハーモニカの演奏の技能には個人差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音符、休符、記号や用語について理解させ、音楽における基礎的な技能を身に付けさせる。</li> <li>鍵盤ハーモニカは繰り返し練習し、階名で歌ったり指番号で歌ったりしながら慣れ親しめるようにし、楽器の基本的な演奏方法を身に付けさせる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いをもつことには課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏の仕方や音の強弱などによる感じ方の違いや、歌詞から感じられる様子を話し合ったりする活動を取り入れ、工夫して表現できるようにする。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と関わりながら楽しく音楽活動をする児童が多く、身の回りの音楽に進んで親しもうとする意欲が高い。</li> <li>技能があまり身に付いていないために、鍵盤ハーモニカなどの演奏に消極的な児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音遊びや即興的な表現など、友達と関わって創造する活動を取り入れ、楽しく学習できるようにする。</li> <li>合奏などを通して演奏する楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>

図画 工作	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみ、のり、パス、絵の具などの基本的な扱い方は分かっている。</li> <li>・完成までの制作過程を理解し、取り組む児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テープや筆、カッターナイフ、ステープラー等造形活動に必要な道具の使い方を紹介し、自分の思いに合った表現方法を選べるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことや材料などを基に、表したいことを思いついたりつくり方を考える力が育ってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色、表し方の面白さなどに気付かせるために、自分たちの作品や身近な教材を楽しく見る場や機会を設定し、感じたことを言葉で交流し合わせる。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形活動を楽しむ児童が多い。</li> <li>・一つの作品にじっくり取り組む力には、個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成までの試行錯誤を楽しめるような時間を確保する。</li> <li>・制作途中での鑑賞タイムを設け、友達と交流させる。</li> <li>・丁寧に作品を仕上げる楽しさを味わわせる。</li> </ul>
体育	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「後ろころがり」「スキップ」といった体を巧みに操作することに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の始めに補助運動として様々な動きを経験させる。</li> <li>・視聴覚教材を活用し、児童に動きのイメージをもたせる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きのコツを考えたり、表現したりすることができる。</li> <li>・教師から提示された遊び方をさらに工夫しようとする姿勢が見られる。</li> <li>・自分の課題に合った場を適切に選ぶことが難しい児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きのコツや、遊び方の工夫について児童が教え合う場をつくる。</li> <li>・声かけ集などをつくり、児童が互いの動きのよさを見つけ合うようにさせる。</li> <li>・児童に実態に合わせた場を用意し、意図をもって選べるよう指導する。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動を進んで楽しもうとする児童が多い。</li> <li>・友達と関わり合うことの楽しさを味わっている。</li> <li>・遊びのルールや安全のきまりを守ったり、勝敗を受け入れたりすることに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にとって魅力のある楽しい活動の場を用意する。</li> <li>・授業のまとめで、準備や片付け、友達との協力などについて振り返らせる。</li> </ul>

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、句読点の適切な使い方が身に付いていない児童がいる。	文章の意味を明確に伝えるために、文脈に合わせて句読点を打つことができ、漢字と仮名を用いた表記を日頃から意識させる。
	思考力、判断力、表現力等	相手に伝わるような話し方、内容を理由や事例を挙げながら話の構成を考へることができる児童が少ない。	説明や報告など調べたことを話したり、お互いの考えを伝える活動を通して指導する。
	学びに向かう力、人間性	言葉がもつよさを感じて読書をしたり、思いや考えを伝え合おうとする態度を身に付けさせたい。	言葉がもつよさに気付かせるために、話したり聞いたり書いたり読んだりする活動の中で、言語感覚を養わせる。
社会	知識及び技能	自分たちの住む地域や東村山市の学習内容であるため、経験や伝聞等によるイメージ化が図りやすい反面、個人差が大きい。	写真や映像、白地図などを多く用いた学習を通して、小グループでの活動を積極的に取り入れ、知識・技能の共有化を図る。
	思考力、判断力、表現力等	1つの事象からいろいろな事象へと思考を広げていく力を付けていきたい。新聞で学習をまとめることが得意。	学習のめあてを一貫して意識させ、つねに思考をそこに戻していくことを徹底して指導する。新聞にまとめる時も、視点を焦点化してから取り組ませる。
	学びに向かう力、人間性	・初めて学習する教科であるため、意欲的に取り組んでいる。自分たちの地域の先人たちの知恵や工夫、努力を学ぶという意識をもたせたい。	可能な限り、地域の人材活用に努める。地域に尽力する人々に実際に触れる機会を多くもち、感性を磨いていく。
算数	知識及び技能	繰り下がりや九九を完全にマスターできていない児童や乗法の意味が理解できていない児童が目立つ。	既習事項の復習を丁寧に行う。また、初めて学習する分数、小数、除法などの概念を丁寧に押さえ、理解を確実にする。
	思考力、判断力、表現力等	自力解決をするための表現の仕方が乏しい。	分かりやすく説明できる友達の表現方法や解説の仕方から学ばせ、質疑や補足など関連付けて膨らませていく。
	学びに向かう力、人間性	初体験の習熟度別指導であるが、優越感、劣等感を抱かずに自分に合った学び方を見つけさせたい。	同じくらいの習熟度の仲間の中で、間違えることを恐れず、自由に自分の考えを出せるようにする。
理科	知識及び技能	観察や実験に興味を示して活動する児童が多い。	実験や栽培、飼育を通して、自然の性質や規則性を知り、科学的に理解する力を養う。
	思考力、判断力、表現力等	観察や実験に興味を示して活動する児童が多い反面、結果から考察を導く方法を身に付ける必要がある。	複数の自然の事物・現象を比較し、差異点や共通点を捉え、問題解決の力を育成する。
	学びに向かう力、人間性	生物の成長を喜んだり、昆虫の活動の不思議さや面白さに気が付いたり、生命を大切にする態度が身に付いている児童が多い。	植物の栽培や昆虫の飼育などの意義を児童に振り返らせ、生命を尊重する態度をさらに育む。

音楽	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの授業における知識は理解できているが、実技の技能には個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識や技能の活動を単発にせず、繰り返し行い、児童に習得させる。</li> <li>・リコーダーの技能が追い付かない児童は、個別に声かけをして、指導する。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の中で思いをもって表現することはできるが、思いや考えが浅い児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で教師がたくさん例を示し、児童の中に表現の幅を広げていく。</li> <li>・友達の見解や考えを紹介して、様々な考え方を共有させていく。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さなことでつまずいたり、思っていることと違ったことが起こったりすると、意欲をなくしてしまう児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな活動を一つ一つほめるようにする。毎回の授業の大きな流れをつくり、途中で意欲をなくしても、また切り替えて児童が臨めるようにする。</li> </ul>
図画工作	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全にのこぎりや金槌を使って木を切ったりつなぐことができた。技能には個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態に合った題材を提案し、仕上がらない児童は休み時間等を使って個別指導をする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表したいことや材料などから発想を広げて工夫して表すことができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入や授業の流れを工夫して楽しく発想を広げる手がかりをつくり、一人一人の発想の良さを励ます。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったように表現できないと意欲が急に低下してしまう児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の合間に励ましの声をかけたり、鑑賞の時間を設け友達同士で認め合えるような教室の雰囲気をつくる。</li> </ul>
体育	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の力を知り、向上させようと意欲的に取り組む児童が多い。反面、習い事に嗜好が偏り、運動も固定化している。個人差がものすごく大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてを明確にもたせ、プロセスをスモールステップを示し、めあて達成までをイメージ化させる。いろいろな運動経験を意識的にさせる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分がやりたいかどうかで判断するため、個人内でも意欲・思考に偏りがある。ルールや協調性など、集団を通して、運動の特性における楽しさを学ばせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>順番や作戦を小グループで考えたり、技能のポイントを教え合ったりする場面を設ける。学習カードを通して、個々の良さを学級で共有する。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>できるできないが、体育課に対する好き嫌いの判断になっているので、運動のもつ特性に触れさせながら、運動そのものの楽しさを味わわせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の力を正しく知り、健康にとって運動がどのように大切なのかをきちんと指導し、生涯スポーツという視点で指導に当たる。</li> </ul>

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	漢字や言語事項、漢字辞典の引き方など、個人差はあるがそれぞれが身につけるべき内容を意識しつつ、学習に取り組んでいる。	学習の進め方を学ばせ、この時間に何を学ぶかを意識させ、習得すべきところは確実に身につけさせる。
	思考力、判断力、表現力等	自分の考えをもてない児童や、伝えることに自信がもてず消極的な児童も少なくない。	グループでの交流などを入れることで考えを伝える機会を増やす。さらに友達の良い考えを発表したり、自分のノートに加えたりすることで、より良いものを取り入れ、学習を深めさせる。
	学びに向かう力、人間性	関心・意欲はわりとあるが、自分の考えが1つ浮かぶと「できた」ととらえがちで、深めたり広げたりすることまで高められない児童が多い。	考えるためのヒント(きっかけ)を与え、考える楽しさを実感させたり、友達の考えと比べさせたりすることを重ね、学ぶ楽しさを体感させてゆく。
社会	知識及び技能	社会的な用語やその意味を正確に理解している児童は少ない。	毎時間、大切なことをしっかり押さえ、単元末には学習全体をまとめる時間を取る。
	思考力、判断力、表現力等	調べたことをもとに新聞にまとめることはできるが、学んだことに対する自分の考えをもつことに課題がある。	学んだことと普段の生活の関連を考えさせ、そこから発展的に思考できるよう指導している。
	学びに向かう力、人間性	身近な問題として関心をもち、進んで調べたりまとめたりすることができる児童が多い。	体験や見学等を積極的に取り入れ、学習を深められる機会を今後も多くする。
算数	知識及び技能	前学年までに身に付けておきたい基礎基本が定着しきれていない児童が少なからずいる。	習熟度に応じて、事前に既習事項の定着度の確認や必要な復習を意識して指導する。
	思考力、判断力、表現力等	自力解決をするための表現の仕方が乏しい。	分かりやすく説明できる友達の表現方法や解説の仕方から学ばせ、質疑や補足など関連付けて膨らませていく。
	学びに向かう力、人間性	習熟度別指導において、優越感、劣等感を抱かずに自分に合った学び方、コースを見つけさせたい。	同じくらいの習熟度の仲間の中で、間違えることを恐れず、自由に自分の考えを出せるようにする。
理科	知識及び技能	事象としては分かっているが、正確な用語を理解して活用できる児童は少ない。	毎時間、大切なことをしっかり押さえ、単元末には学習全体をまとめる時間を取る。
	思考力、判断力、表現力等	実験・観察の過程を分かりやすく記録することはできるが、結果に対する原因や理由を自分なりに考えることができている児童は少ない。	理由を予想して実験の見通しをもち、ねらいに基づいた結果の考察をさせていく。
	学びに向かう力、人間性	科学的な事象に関心をもち、観察や実験などに意欲的に取り組む児童が多い。	事象提示の仕方や試行錯誤する時間を多くとり、自ら問題をつくり調べていけるような学習の流れをつくる。

音楽	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までに学習したことを理解している児童が多いが、技能面において大きく個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識や技能の活動を単発にせず、繰り返し行い、児童に習得させる。</li> <li>・リコーダーの技能が追い付かない児童は、個別に声かけをして、指導する。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が表現したい音楽を考え、様々な発想につながられているが、深い思考には至っていないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が表現した時に、自分の思いを、どのような思いで考えたのか聞いていくことで、表現と思いを一体化させていく。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なことに意欲的に取り組み、楽しんでいる。</li> <li>・他の児童を手本にできる児童も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に活動している児童をほめたりして、意欲的にさせていく。</li> <li>・友達のよい所を学んで、自分でもやってみよう声をかける。</li> </ul>
図画工作	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの材料や用具についての経験を生かして安全につくることができているが、技能面では個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく出てくる用具や道具は初めに安全で適切に扱う方法を知らせる。</li> <li>・個別の支援が必要な児童は休み時間や放課後などの時間を使い、個別に指導する。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独自の世界を大切にし、発想や構想を広げ、さまざまな思いつきを楽しんでいるが、思いきった表現ができない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材やその提示の仕方を工夫し、一人ひとりの発想の良さを適切な場面で認め、全体に紹介するなど工夫する。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて、意欲的に造形活動を楽しんでいる。平面表現に苦手意識を持っている児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その子なりに工夫して制作しているところを励ます。</li> <li>・作品を見合う機会を設定し、感想を共有することで認め合える雰囲気をつくる。</li> </ul>
体育	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>技能に関しては個人差は大きいですが、学習意欲はわりと高い。習い事でサッカーや野球が得意という児童もいるが、反面マット運動は苦手などのように、個人における技能の差もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてを意識させ、具体的にポイントを意識させて練習させることで、できないことをできるようにさせていく。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームで作戦を考えるなどはキャプテンを中心にやれる。自分のめあてに向けて練習の仕方を考えるなどは、やや難しいようである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作戦を考えたりふり返ったりする機会を設定し、自分たちで良いところを見つけたり、認め合ったりする体験を増やしていく。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームでの教え合いや上手な友達から学ぶなど、友達から学ぼうとする姿勢は育ってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できるできないではなく、自分のめあてに沿って自分の伸びを実感させ、次への意欲につなげていかせる。</li> </ul>



教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	個人差があるものの、それぞれの領域において、児童一人一人が活動を行うことができる。	各領域において、単元の学習活動の過程を児童に明示しつつ、その単元の中で特に重点を置く過程を定めて指導する。押し並べてすべての過程を指導するのではなく、重点的に指導することで、児童一人一人に確実に知識や技能を身につけさせているようにする。
	思考力、判断力、表現力等	自分なりに考えたことを学級全体で交流しようとした際、積極的に自分の考えを発信できる児童とそうでない児童との差が大きい。発言が控えめの児童がどのような思考等をしているのかを見取る方法を工夫すべきである。	各領域において、「自分でやってみる」⇒「友達と交流してよりよいものを探る」という学習をできるだけ多く位置づける。友達と交流するためにはまず自分なりの考えをもたなければならぬ。次に、自分の考えと友達の考えを比較したり関連付けたりさせることで、よりよいものがどういふものかを考えたり判断したりすることができる。また、自分の考えを適切に相手に伝えながら、表現力を高められるようにさせたい。すべての児童にこれらの力を身につけさせるために、交流の場を学級全体や小グループ、ペア等々の工夫を講じていく。
	学びに向かう力、人間性	全体的に関心・意欲は高いが、最後までやりきるのが苦手な児童が目立つ。単元全体を見通したり、やり方が分かったりすることが、最後まで学びに向かっていくには必要になると思われる。	各領域において、単元の学習活動の過程を児童に明示しながら授業を進める。これにより、児童が単元全体の見通しや、「やってみよう」「できそうだな」と期待をもちながら学習を進めることができるようになる。
社会	知識及び技能	基礎的な知識を一時的に身に付けることはできるが、定着まで至らない児童が多いように感じる。また、資料活用の技能が低い児童もいる。	授業ごとに前時の復習を取り入れ、各単元の終わりには前単元の復習問題を行っていく。また、日頃から資料を読み取る機会を増やし、読み取る力を身に付けていく。
	思考力、判断力、表現力等	資料から予想される背景を考えることが難しい児童が多く見られる。	資料を読み取る際、グループになり児童同士で意見交換ができる場を作り、様々な考え方に触れ、自分の意見と比較・関連して考えられるよう支援する。
	学びに向かう力、人間性	自分の意見を書いたり、自力で問題を解決しようする意欲が低い児童が多い。	考えやすい発問や問いからはじめ、自力解決の習慣をつけていくようにしていく。
算数	知識及び技能	前学年までに身に付けておきたい基礎基本が定着しきれていない児童が少なからずいる。	習熟度に応じて、事前に既習事項の定着度の確認や必要な復習を意識して指導する。
	思考力、判断力、表現力等	自力解決をするための表現の仕方が乏しい。	分かりやすく説明できる友達の表現方法や解説の仕方から学ばせ、質疑や補足など関連付けて膨らませていく。
	学びに向かう力、人間性	間違いをおそれて発言を控えたり、自信の無さから表現を控えてしまったりする児童が多い。	同じくらいの習熟度の仲間の中で、間違えることを恐れず、自由に自分の考えを出せるようにする。
理科	知識及び技能	既習事項があいまいな児童が散見される。実験や観察等の体験を通して知識や技能を身につけさせていきたい。	「条件制御」について繰り返し指導する。条件制御が必要な場面を提示し、目的にこれが行えるようにする。実験や観察に加えて映像資料等も活用する。目の前の実験等と映像を比較し、より正確な知識や技能を獲得させていく。また、観察や実験において、新しい器具や薬品等を扱う場合、その性質や使用上の注意等を確実に指導する。
	思考力、判断力、表現力等	問題解決的に学習の過程を経験してきている。各過程において、「正答」を早く知ろうとする傾向がある。対象にじっくりと向き合いながら実験や観察をする中で思考力等を育てていきたい。	事象提示後の問題作りや、その後の予想を児童一人一人が丁寧に考えるような場を設定する。問題解決の各過程において、交流の場を工夫する。同じような予想をした相手と交流することで自分の思考が安定したり、自分と異なる予想をした児童と交流することで、より多面的に考えられるようになったりする。また、各過程をノートにまとめる際、その時に自分が感じたり考えたりしたことをメモするよう指導する。
	学びに向かう力、人間性	対象等に対する興味や関心は高い。問題解決前に予想をさせてみると、多数派の考えに寄り添おうとする児童が多い。「なぜそのような予想を立てたのか?」「これまでの生活経験の中のどのようなことを根拠としたのか?」等々、一人一人が自分の予想等を大切にできるような工夫が必要となる。	事象提示等を丁寧にしながら、児童一人一人の「なぜだろう?」「きつこうなるだろう?」等々の思考を促していく。その上で適切な問題を作り、学級全体で解決していこうという意欲や雰囲気を作り出す。一人一人が予想の根拠を明らかにしてから、それらの予想の交流を行うようにする。一つ目の問題を解決したことで、二つ目の問題が生み出されていくような声掛けを指導者が意識する。問題解決を繰り返しながら単元の内容が身につくようにしていく。

音楽	知識及び技能	・今までに学習したことは理解できている部分が多いが、技能面においては大きく差がある。	・一度行ったことを繰り返して実施し、何度も児童に経験させる。 ・リコーダーの技能が追い付かない児童は個別に声かけをして、指導する。
	思考力、判断力、表現力等	・自分なりの音楽を表現したいとは思っているが、思考の部分が浅く、あまり考えずに表現する児童が多い。	・思ったことをすぐに実行して満足するのではなく、教師側が様々な例を示し、表現の幅広さに気付かせていく。
	学びに向かう力、人間性	・さまざまなことに意欲的に取り組み、友達と協力して活動することができている。	・児童が常に意欲的に活動できるように、教師側が声かけをしていく。
図画工作	知識及び技能	・これまでの材料や用具についての経験を生かして安全につくることができているが、技能面では個人差がある。	・用具や道具の安全で適切な使い方を適宜確認しながら指導する。 ・支援が必要な児童は休み時間や放課後などの時間を使い、個別指導する。
	思考力、判断力、表現力等	・発想力はあるが、自信をもって表現できない児童もいる。	・工夫しているところを全体で紹介したり、それぞれの発想の良さを適切な場面で評価し、自信をもたせる。
	学びに向かう力、人間性	・完成までの見通しを持たず、集中力が途切れてしまう児童がいる。	・発想を広げる手立てを工夫したり、活動の流れを視覚化し、わかりやすく示す。
家庭	知識及び技能	基本的な技能を身に付けている子は多い。知識面では生活と結び付けて考えることが難しい子もいる。	より生活を意識させて発問をしたり活動を精選したりする。また、児童相互の教え合いを活用する。
	思考力、判断力、表現力等	自分の生活と学習とをつなげて考えることが難しい児童が多い。	生活につなげて考えることができるような発問や資料を用意する。
	学びに向かう力、人間性	活動自体には意欲的に取り組んでいる。(特に男子)しかし、それを生かしていこうという意識までには達していない。	学習したことを生かしていけるよう、具体例を挙げるなどを支援をする。
体育	知識及び技能	技能の定着状況を見ると、できる子とできない子の二極化が見られる。	C評価の児童に対して、スムーズな動きを身に付けられるよう、スモールステップ手立てを講じる。
	思考力、判断力、表現力等	自分の(チームの)特徴に応じてルールや作戦を考えることが難しい。	自分の様子を正しくとらえることができるよう、絵図やICT機器を用いて理解を深め、他者に伝えられるようにする。
	学びに向かう力、人間性	運動への意欲の偏りが大きい。〇〇は得意だが、□□は苦手という子が多いように感じる。	体づくり運動など、運動の基本となる動きを多く経験させ、苦手な動きをなくしていく。

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生の漢字だけでなく、下学年までの漢字も定着が図れていない。</li> <li>・文章を書く際、語句の係り方や語順が不適切だったり、語彙力の乏しさがあつたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の漢字を含めた、ミニ漢字テストを行う。</li> <li>・短文中で文章を書き、表現方法や漢字を適切に書く練習を積み重ねていく。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の要旨を捉えることが難しい。</li> <li>・事実と考えなどを分けて書くことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように要旨を捉えていけばよいか、スモールステップで学習していく。</li> <li>・取材メモなどを用いて、書く内容を整理してから文章を書いていく。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書量が少ない。</li> <li>・文章をじっくりと読むことを避ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の利用、担任が本の紹介をする、読書カードを用いるなどして読書を推進していく。</li> <li>・国語科だけでなく、文章に出合ったら、じっくりと意味を読み解いていくことをさせていく。</li> </ul>
社会	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から答えを読み取ることはよくできる。</li> <li>・調べ学習の時に資料を自分で探したり、必要な情報はどこなのかを活用することはまだ難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象の見方(時間・空間・関連性)を働かせて資料を読み取るようにする。</li> <li>・社会的事象の考え方(比較・分類・関連・総合)を働かせて、単なる知識の習得ではなく特色や意味も理解できるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決のための調べ学習であることを認識することが必要。</li> <li>・単元のまとめとしての学習問題に対する自分の考えを書くことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題を意識した単元計画を児童とつくる。</li> <li>・単元のまとめの時間では、学習を振り返り今まで調べて分かったことが学習問題の解決にどのように関連しているかを考える時間をつくる。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題に対して主体的に解決しようとするよりも受け身になっている児童が多い。</li> <li>・今学習していることを自分の社会生活に生かそうとする考えがあまりない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で資料を持ってきた児童をほめ、紹介する。</li> <li>・学習問題の答えを予想し、学習計画を作ることで見通しをもたせる。</li> </ul>
算数	知識及び技能	前学年までに身に付けておきたい基礎基本が定着しきれていない児童が少なからずいる。	習熟度に応じて、事前に既習事項の定着具合の確認や必要な復習を意識して指導する。
	思考力、判断力、表現力等	自力解決をするための表現の仕方が乏しい。	分かりやすく説明できる友達の表現方法や解説の仕方から学ばせ、質疑や補足など関連付けて膨らませていく。
	学びに向かう力、人間性	間違いをおそれて発言を控えたり、自信の無さから表現を控えてしまったりする児童が多い。	間違いをおそれず、自由に自分の考えを出せるようにする。話し合いや教え合いの時間を入れる。
理科	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験を正しく行うことはできる。</li> <li>・その実験が何のために行われているのか、実験の意図を理解できていない児童が見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の手順を丁寧に提示するだけでなく、一つ一つの過程の意味を児童と共に考えていき、実験の意図をおさえていく。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験結果から考察することが難しい児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験→考察→結論の授業の流れを毎時間行い、思考力を高めていく。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に学習に取り組むことができる。</li> <li>・協力して、実験をしたり、考えたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な事象から問題を作っていくことで、より意欲的に学べるようにする。</li> </ul>

音楽	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識を理解したり、学んだりはできているが、技能面で差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを繰り返す場面をつくり、児童に慣れさせていく。</li> <li>器楽の技能は、少ない人数で教師が見て、一人一人に個別の声かけをしていく。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの思いを表現したいとは思っている児童が多いが、なかなか自分の思いや意図の実現に結び付かない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師側が様々な表現例を示し、児童に多くの表現の幅を示す。</li> <li>児童が表現できたときに、教師側が声かけをして認める。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に取り組む部分はあるが、歌唱に関しては自信がなかったり周囲を気にしたりして、声が小さくなりがちである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱の時は小さな声でも教師が前向きな声かけをして、声を出すことに少しずつ自信を持たせていく。</li> </ul>
図画工作	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの材料や用具についての経験を生かして安全につくることができるが、技能面では個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具や道具の安全で適切な使い方を適宜確認しながら指導する。</li> <li>支援が必要な児童は休み時間や放課後などの時間を使い、個別指導する。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>独自の発想に自信を持って取りくんでいる。</li> <li>表したいことや材料などの特徴を基に、じっくりと構成を考える力は弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの発想の良さを適切な場面で評価し、自信を持たせる。</li> <li>発想や構造が深められるように資料を準備したり、適切な場面で具体的なアドバイスをしたりする。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてをもって取り組み、意欲的に造形活動を楽しんでいる。準備、片付けなども友達と協力して行うことができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より学びが深められるように、題材を吟味し、準備・声かけ等を工夫する。友達の作品を鑑賞する時間を設け、よさや美しさを感じ取れるようにする。</li> </ul>
家庭	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人間での技能差が大きい。</li> <li>家庭での経験の差が、知識や技能につながってしまっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者ボランティアを募り、複数の大人の目で実技ができるようにする。</li> <li>長期休業などを使い、家庭での経験を増やしていく。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品を制作する際、自分なりの工夫を図ることができる児童と、そうでない児童の差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成する作品を選択制にして、なぜそれを選んだのか、どのように使う予定なのかを問うていく。</li> <li>本体の作成時間だけでなく、工夫をするための時間の確保をする。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを、日常生活に生かすことが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジカードや自主学习で、学習したことを家庭でも挑戦できるよう促していく。</li> </ul>
体育	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>技能の獲得に必要な知識を共有できていないことが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の場の設定を工夫して、技能が獲得しやすいようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのようにすれば目標を達成できるのか考えて行動する児童と考えない児童に差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スモールステップで学習カードを作り、目標が焦点化できるようにする。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元によって主体的になれる時と、そうでない時がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの子にも楽しめるような学習環境の設定をする。</li> </ul>